

第1編 基本構想

目次	掲載ページ	修正の有無	現行計画における主な記載内容	次期計画の策定に向けた修正方針	参考資料
第1章 まちづくりの基本理念と将来像		—	—	—	—
1 まちづくりの基本理念	40	なし	現行計画では、下記3つを基本理念と定めています。 ・市民一人ひとりが幸せを感じられるまちづくり ・持続可能なまちづくり ・個性豊かなまちづくり	後期基本計画の策定においては、修正はございません。 「第3次つくばみらい市総合計画（計画期間：2028年度～）」の策定時に見直しを行います。	—
2 将来像	41	なし	現行計画では、行政が市民と協働で目指す姿として下記を将来像と定めています。 しあわせと笑顔あふれる みどりがつなぐ”みらい”都市	後期基本計画の策定においては、修正はございません。 「第3次つくばみらい市総合計画（計画期間：2028年度～）」の策定時に見直しを行います。	—
第2章 まちづくりの将来指標		—	—	—	—
1 まちづくりの規模（人口指標）	42	あり	本市の人口は2005年から2015年までの10年間で約20%増加しました。今後も、市民生活の利便性の向上や就業の場の創出を図りながら、2027年には、人口53,200人を目指します。	令和2年度国勢調査によるつくばみらい市の人口は49,872人でした。現在、0-4歳といった5歳階級ごとの人口動態の状況を整理・分析や今後の市内での開発見込みの精査などを行っており、それらの結果を踏まえ、本市の将来人口の推計を行います。	—
2 まちづくりの質（しあわせ指標）	43	あり	市の魅力を生かしながら、市民目線に立った「生活の質」「環境の質」を高めるには、市民が幸せを感じられるまちづくりが重要です。アンケート等から指標化した「主観的指標」や統計的データ等から指標化した「客観的指標」のレベルを確認しながら、市民一人ひとりの幸福が高まるまちづくりを進めます。	後期基本計画への移行と合わせ、しあわせ指標のブラッシュアップを行います。 見直し後は、より市民の声に比重を置き、将来に向けた市民意識も含めた指標とします。	資料4
第3章 まちづくりのデザイン		—	—	—	—
1 グランドデザイン（土地利用構想）	44	あり	都市的機能の充実を図るだけでなく、機能性を高めるため、次の方向性でまちづくりを展開し、まち全体の総合力の強化を図ります。 ①個性と魅力を高める「地域（面）」の形成 ②活力あるまちを創り、豊かな暮らしを彩る「拠点（点）」の配置 ③都市構造を支える「ネットワーク（軸）」の形成	福岡工業団地地区や常磐自動車道の（仮称）つくばみらいスマートインターチェンジ周辺など、新たな開発構想を含んだ土地利用構想とします。	資料5
2 ライフデザイン（暮らしづくり構想）	48	あり	「市民一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしの実現」をテーマに、それぞれの市民のライフスタイルに応じた豊かな暮らしを享受するために、自治体やコミュニティ、団体や企業が役割分担し、連携・協力する必要性を示しています。	新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により、市民のライフスタイルが大きく変容しました。ポストコロナに向けた、ライフデザインの方向性を見直しを行います。	—
3 ソーシャルデザイン（地域社会づくり構想）	50	あり	「市民が主体的に参加する新たな地域社会づくり」をテーマに、身近な地域の課題や問題を解決するためには、地域住民の連携・協力が必要であることを示しています。	新型コロナウイルス感染症の発生・拡大により、地域コミュニティの在り方を見直しや役割の重要性が増しています。ポストコロナに向けた、地域コミュニティの役割の見直しを行います。	—
第4章 まちづくりの基本目標		—	—	—	—
まちづくりの基本目標	52	あり	「まちの将来像」を実現していくために、3つのまちづくりの目標を掲げ、目標を達成するための施策の方向性を示します。 1. 市民目線に立った質の高いまちを創る 2. 市民が豊かな暮らしが描ける場を創る 3. 連携や協力によって支え合う社会を創る	施策体系の見直しに合わせて、各目標の関連分野を修正します。 関連分野の掲載箇所は、各施策との繋がりが分かりやすくなるよう基本計画の施策体系のページに変更します。	—